



平成 26 年 10 月 9 日 14 時 00 分
中 部 地 方 整 備 局

御嶽山噴火の降灰に伴う
木曽川水系河川の水質調査結果について
木曽川本川において出水中の白濁水を採水調査
調査結果は環境基準値範囲内

台風 18 号は、噴火後、初めてのまとまった降雨であり、降灰の河川への流下が懸念されることから、白濁水の流下状況や水質変化を確認するため河川の巡視や採水調査を実施しました。その調査結果がまとまりましたので報告します。

なお、木曽川/飛騨川に水道用の取水口があるが、通常の取水が行われ、支障はないことを確認しています。

今後、台風 19 号が近づいていますが、引き続き、関係機関と協力し河川の監視を継続していきます。

※関係機関が実施している調査結果については、下記に掲載されておりますので、ご参照ください

<http://www.cbr.mlit.go.jp/saigai/NEWS/MAIN/index.htm>

- 1) 調 査 時 期 10 月 5 日～10 月 7 日
- 2) 調査内容/結果 別紙のとおり
- 3) 調査協力機関 長野県、岐阜県、水資源機構
 関西電力、中部電力
 国土交通省中部地方整備局

4) 配布先

中部地方整備局記者クラブ、飯田市役所記者クラブ、
木曽合同庁舎記者室、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 河川部河川環境課 課長 筒井 保博
補 佐 臼田 文昭

T E L 0 5 2 - 9 5 3 - 8 1 5 1

調査結果のポイント

1) 木曽川と飛騨川で降灰を含む濁水の流下を確認 (表－①)

- ・ 噴火時は木曽川で噴火物による白濁水を確認したが、今回、飛騨川において確認。
- ・ 飛騨川支川小坂川上流の濁河川が発生源として流下した。
小坂川古子橋地点の水素イオン濃度 (pH) は環境基準値内の 7.2 であり pH の低下は認められない。
- ・ 木曽川については、ヘリ調査から濁水は、王滝川支川西野川及び王滝川支川濁沢川が発生源として流下。(図－2)

2) 王滝川支川濁沢川から高濃度の白濁水が流下するとともに、貯水池上流端で pH の低下が見られたが取水塔地点の水質に変化は認められない。 (表－②)

- ・ 濁沢川については牧尾ダム貯水池に到達 (ダム堤体の上流約 6.2 km 地点) していることを確認。(水資源機構 10/7 発表) 現在、牧尾ダム放流水に目立った濁りは認められず、取水塔地点の水質に変化は認められない。

3) 木曽川において今回の出水直後の白濁水を採水し水質検査を実施 (表－③) 検査結果では環境基準値の範囲内であった。

- ・ 出水中の影響を見るため前日 (10/5) に採水した調査結果と比較したが、浮遊物質以外は特に変化は認められない。
(浮遊物質は、降雨後の濁水の流出時には、数百 mg/l 以上になることもあります。)

4) 木曽川/飛騨川に水道用の取水口があるが、通常の取水が行われ、支障はないことを確認している。 (表－④)

別紙

調査内容

1) 気象概況（観測所 御嶽山（気象庁））

総雨量：109mm（10/5 6:00～10/6 10:00）

時間最大雨量：12mm（10/5 16:00～17:00）

河川流量：丸山ダム最大放流量 502m³/s（10/6 8:00）

2) 調査内容

調査位置 図－1

【水質調査】

（木曽川筋）

- ・調査日：平成26年10月5日・6日
- ・調査地点：桑原（王滝川）、小川橋（木曽川）、三根橋（木曽川）
- ・調査機関：中部地方整備局

（飛驒川筋）

- ・調査日：平成26年10月6日
- ・調査地点：久須母橋（飛驒川）、古子橋（小坂川）、東上田（飛驒川）
- ・調査機関：岐阜県

【白濁水の流下調査（へり調査）】

- ・調査日：平成26年10月7日
- ・調査機関：中部地方整備局

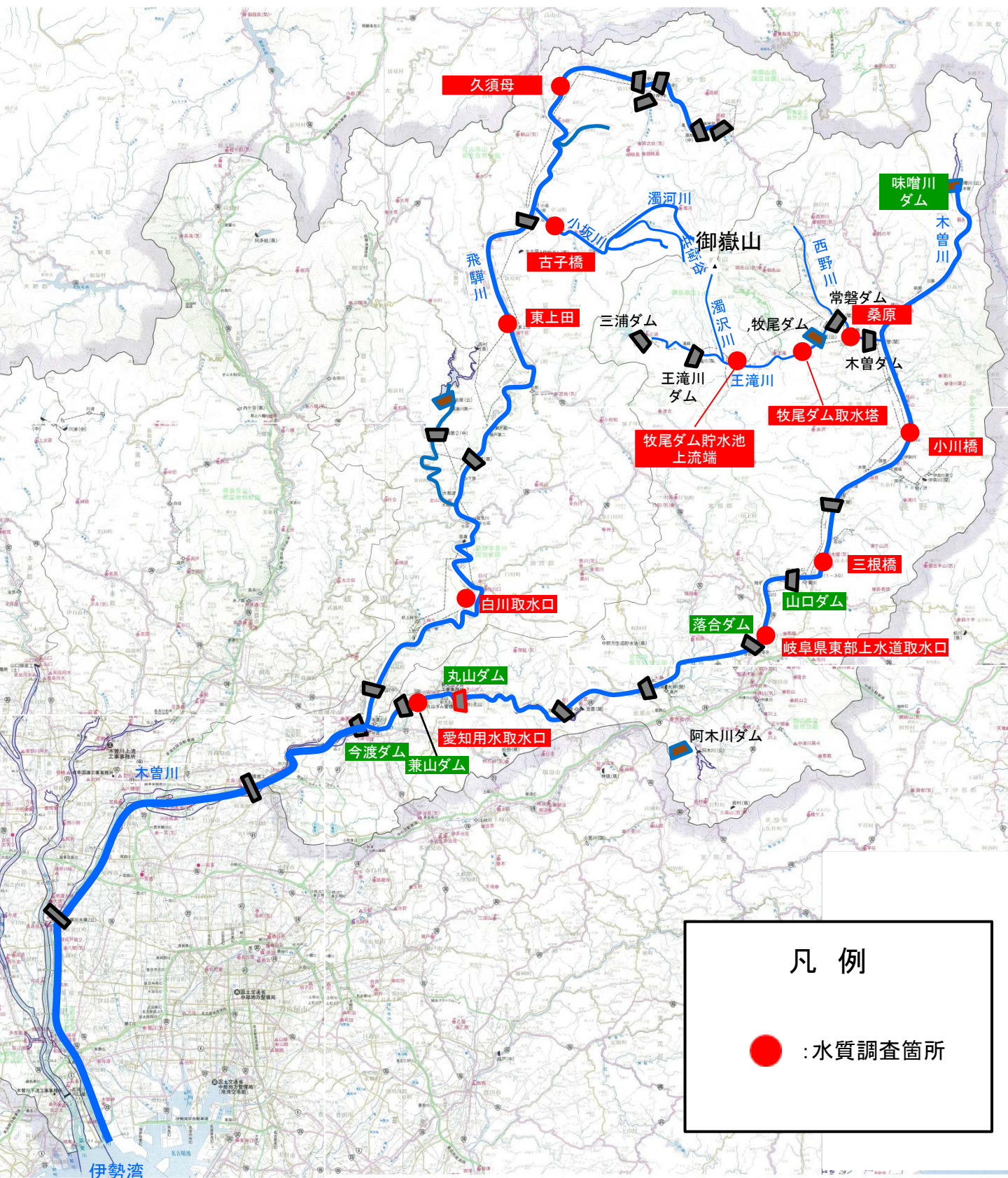
3) 調査結果

表－①～④ に示す

まんなか号によるへり調査 図－2

水質調査位置図

図一 1



水質調査結果

(飛驒川筋) 表一①

分析項目	環境基準値	久須母橋	古子橋	東上田
		10/6 14:00	10/6 14:38	10/5 15:20
水素イオン濃度(pH)	6.5以上～8.5以下	7.7	7.2	7.5
濁度	環境基準値なし	1	140	9.5
電気伝導率	環境基準値なし	4.8	9.5	4.5

(牧尾ダム) 表一②

分析項目	環境基準値	取水塔		貯水池上流端	
		10/6 15:00	10/9 10:00	10/6 15:00	10/9 10:00
水素イオン濃度(pH)	6.5以上～8.5以下	7.2	7.3	5.2	4.8
濁度	環境基準値なし	0.0	0.0	1000以上※	387

※測定上限値以上

(木曾川筋) 表一③

分析項目	環境基準値	三根橋		小川橋		桑原	
		10/5 10:30	10/6 13:30	10/5 12:00	10/6 10:30	10/5 13:00	10/6 10:30
水素イオン濃度(pH)	6.5以上～8.5以下	7.2	6.9	7.6	7.0	6.9	6.9
浮遊物質量	25mg/L以下	4	430※	1	160※	3	58※
カドミウム	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
鉛	0.01mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
ヒ素	0.01mg/L以下	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
セレン	0.01mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ホウ素	1mg/L以下	<0.05	0.05	<0.05	0.05	0.07	<0.05
全クロム	環境基準値なし	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01

※浮遊物質量は降雨後濁水の流出時には数百mg/L以上になることもあります。

(利水状況) 表一④

分析項目	環境基準値	岐阜県東部上水道		愛知用水		木曽川用水
		落合ダム		兼山ダム		白川取水口
		10/6 8:00	10/9 12:00	10/6 15:00	10/9 10:00	10/9 10:00
水素イオン濃度(pH)	6.5以上～8.5以下	7.3	7.1	6.7	6.9	7.0
濁度	環境基準値なし	37.5	2.0	12	335	0.0
通常の取水が行われている						

木曽川筋 ヘリによる白濁水の流下調査



濁沢川から高濁度の白濁水が流下している
王滝川は合流手前まで濁りなし



牧尾ダム貯水池に白濁水が流入しているがダム放流口まではり流下していない



出水時の濁りと白濁が混合している



西野川から白濁水が流下している



牧尾ダムのある王滝川は
西野川合流手前まで濁りなし



木曽川本川では、
上流から、徐々に白濁は
沈静化している

図一2

10月7日(火) AM
まんなか号より撮影